

## 東彼杵町総合戦略推進会議 議事録

1	会議の名称	<b>令和6年度 第1回 東彼杵町総合戦略推進会議</b>		
2	会議の開催日時	令和6年8月9日(金) 13時30分～15時45分		
3	会議の開催場所	東彼杵町総合会館教育センター 2階大会議室		
4	事務局(担当課)	総務課企画係	傍聴者数	0名
5	出席委員	西 昭則、三尾 剛志(副会長)、伊藤 幸繁、西坂 秀徳(会長)、古川 茂、吉田 浩史、中野 隆志、田島 信弘、佐藤 和則、明時 千枝子、木田 浩美、下田 勝、高坂 由美子、野口 厚司、森 一峻、澤登 舞 (以上16名、順不同)		
6	会議の内容	<b>1 開会</b> <b>2 会長あいさつ</b> <b>3 議事</b> (1)第2期総合戦略の効果検証について (2)次期総合戦略の策定について <b>4 その他</b> (1)企業立地促進事業について (2)地域資源を活用したキラリと輝くまちづくりプロジェクトについて <b>5 閉会</b>		
7	配布資料	<b>●令和6年度 第1回東彼杵町総合戦略推進会議 次第</b> <b>●東彼杵町総合戦略推進会議委員名簿</b> <b>●第2期東彼杵町総合戦略 庁内検証概要</b> <b>●東彼杵町デジタル田園都市国家構想総合戦略策定に向けて</b>		
8	審議等の内容	別紙のとおり		

## ○開会

事務局：ただ今より令和6年度第1回東彼杵町総合戦略推進会議を開会する。今回より、委員が変更となっている。（西委員・吉田委員）

## ○会長あいさつ

西坂会長：皆様こんにちは。今回の会議については、第2期計画の効果検証と次期計画の策定に向けてといった内容になっている。ご意見等遠慮なくお聞かせ願いたい。

## ○協議事項

### （1）第2期総合戦略の効果検証について

### （2）次期総合戦略の策定について

～事務局より説明～

西坂会長：事務局から説明があった。委員の皆様からご意見・ご質問はないか。

下田委員：総合戦略の効果検証の資料に書かれている日本型直接支払制度とはどんなものなのか。

事務局：国の補助制度で、中山間地域の農地を維持していくために地域主体の取り組みを補助していく制度である。

下田委員：うちの地区では、農業をしている・していないに関わらず、いろいろな人が農地やその周辺を整備していく必要があると思う。農業の定着に向けては厳しいところがあるが、制度を活用したり拡張したりすることで、次いで行けるような支援をしてほしい。お茶も値段が下がってきている。東彼杵町の農業を守っていくためにも、何か考えていることがあれば聞かせていただきたい。

事務局：町の人口は5年で6%ずつ減ってきているが農業従事者はその倍の12%減っている。中山間地域の農地維持は災害を防止するためにも重要であり、農業従事者の減少は、多面的に影響が大きいと感じている。食糧自給率を基に、明確なビジョンをもって農業施策を展開していく必要がある。収益性の高い作物を奨励していくことや、効率的な

農業の推進のためにも農地の見極めと保全が必要である。現在も力を入れているが今後も力を入れていきたいと考えている。提言いただいた内容を踏まえて、次期計画に反映していきたい。

西坂会長：農業委員会としても、人農地プランの策定を進めていたが、地域計画に代わり、地域全体で将来の農地利用を考え策定をするようになってきている。5年後10年後も農業をしているのか、農地を森林に還すなど、見極めを行っている。農家が続けていくうえで最も大事なものは売り上げが上がることだ。ブランドと中身とストーリーが重要だと思う。3つがそろふことで未来につながる農業になると思う。農家数が減って、農地が減ると、地域の環境も落ちてしまう。

中野委員：スピード感のある仕事をしていると感じている。第2期総合戦略をみると、工業団地の件もそうだが、過去にもトラウトサーモンの陸上養殖や野菜の水耕栽培、小学校の海藻養殖の勉強会など、積極的な事業を展開されていると感じた。今後の人口は45年後、約3,300人の予測が下方修正されている。転入企業や転入者を町民の方が迎え入れる体制が整っていると感じている。そのことから、達成していないものもあるかと思うが、うまく進んでいると思う。第3期はまた新たな視点で取り組みを進めてほしい。

事務局：東彼杵町はこの2年連続で社会増に転じている。様々な要因があると思うが、総合戦略の取り組みの結果が良い方向に向かっていると思っている。強みを生かして次の戦略を立てていければと思う。

古川委員：学力の魅力向上についての数値はどういう意味なのか。

事務局：小中学生のテストで平均以上の項目がいくつあったかの割合になっている。

野口委員：転入者として発言させてもらう。基本目標2の持ち家奨励金や遠距離通勤の支援など、効果が出ていると思う。私は千葉県旭市に住んでいた。銚子市にほど近く東のはずれだが、職場の職員が結婚し、遠い成田市に転居することがあった、なぜかと聞いたら保育料が安いと言っていた。具体的な補助制度は子育て世代・働く世代に効果的だと思う。また、地域おこし協力隊などの移住者へのサポートだが、移住者と地域が相互理解を深めるという視点は非常に重要だと思う。自治会にもなかなか入ってくれないこともあり、そういったところへの支援も必要だと思う。東彼杵町に移住して思ったのは地域活動の濃さ。みんなで草刈りをしたりするのに驚いた。具体的な活動内容が予めわかるようなものがあればさらに良いと思う。もう一つ、土地の名

前に昔ながらの名前が多い。土地の歴史を大切にするのも重要だし、たくさんの人に知ってほしい。また、インフォカナルでサルの出没が流れるが、位置関係がわからない人にやさしいシステムにしてほしい。道路の名前も「〇〇～〇〇線」のようにわからないものが多い。地図などで示せるシステムになるとよい。

事務局：子育て支援に重点を置いて現在も取り組んでいる。移住施策は長い期間をかけて取り組んでおり、充実させている。移住施策はパッケージ化を進めている。自治会にも確認を取り 34 地区の活動内容をリストにして移住されてきた方に案内できるようにした。地名の話は私も興味があり、町内には大字は 23、小字は 800 ある。それぞれ興味深いもので、まちづくりの面白い視点にもつながると思う。インフォカナルについてもホームページの情報を発信し、誰にでもわかりやすいものを心がけていきたい。

明時委員：保育園の無償化が進み、実際に川棚町から来られたり、転出しそうな人の抑制につながったり、町内でも効果が出ている。だがそれが発信できていない。先日福祉の部署の方をお願いして、1枚で子育て支援が充実していることがわかるような紙を作ってくれた。とても評判がいいので活用してほしい。また、お試し住宅利用者で子どもと触れ合える機会があってもよいと思う。大人もゆっくり見て回れるし、子どももふれあいが生まれる。

事務局：情報発信には今後も配慮していきたい。お試し住宅は最大1か月が利用限度。稼働率も高く、3割が移住につながっている。アパートもすぐに埋まる状況である。今後も子育て支援・移住支援を充実させていきたい。

## ○その他

### (1) 企業立地促進事業について

### (2) 地域資源を活用したキラリと輝くまちづくりプロジェクトに

## ついて

～事務局より説明～

事務局：この点に関してご質問などがあればお願いしたい。

中野委員：総合戦略の中身に関わる取り組みだと思うが整合性をとっているのか。目標を設定していれば教えてほしい。予算はあるのか。人材は不足していないのか。現段階の考えを教えてほしい。

事務局：総合戦略の柱に沿った形での提案をさせていただいている。KPIも設定している。予算は今のところないが、企業版ふるさと納税など活用しながら事業化を目指している。人材に関しては、足りないところもある。地域おこし協力隊の協力を得ていくなどしていく。

事務局：総合戦略の内容にも盛り込むことで、地方創生の交付金も総合戦略の内容と整合があれば、それも活用することができる。

中野委員：諫早市にゆめタウンができる。また人の流れが変わる。加えてダムを作っている。大村市は自給率が落ちている。田畑は全部宅地になってしまったためだが、東彼杵町の自給率をあげると周辺自治体にまで波及できるのではないか。周辺の動向を踏まえながら最善の計画を立ててほしい。

## ○閉会

事務局：以上を持って本日の会議すべてを終了する。